

地域密着型金融の取り組み状況

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

平成30年 5月

遠軽信用金庫

当金庫の地域密着型金融（リレーションシップバンキング）は、金融庁の金融審議会報告書「地域密着型金融の取り組みについての評価と今後の対応について―地域の情報集積を活用した持続可能なビジネスモデルの確立を―」において、恒久的な枠組みとして推進すべきとの提言がなされたことを踏まえ、長期経営計画「えんしんスクラム強化3か年計画～独自性発揮による地域の成長と価値創生をめざして～」及び「平成29年度事業計画」の基本方針に掲げ、お取引先企業への支援及び地域経済への貢献に向けて取り組んでおります。

今般、平成29年度における取り組み状況を報告いたします。

1. 全体的な取り組み状況

地域密着型金融の全体的な取り組み状況は、長期経営計画「えんしんスクラム強化3か年計画～独自性発揮による地域の成長と価値創生をめざして～」及び「平成29年度事業計画」の具体的施策に基づき、概ね計画どおり実施いたしました。

重点事項毎の取り組み概要は、次のとおりであります。

(1) ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化

お取引先企業の資金繰り支援や貸出条件緩和への取組などの経営支援活動を積極的に推進いたしました。とりわけ、事業先をリストアップのうえ訪問活動を実施し、業況の把握や資金繰り支援に努めたほか、延滞中や条件緩和を希望しているお取引先に対しましては、ヒアリングを行い条件緩和について柔軟に対応いたしました。

また、セミナー、経営相談会及び若手経営者交流会などを開催し、お取引先の経営力強化に努めました。

(2) 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

目利き能力や事業性評価能力の向上に向けた研修等への職員派遣及び集合研修の実施等により、人材育成に努めました。

(3) 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

地域金融機関としてネットワークを広げ、専門家、専門機関と連携し、情報集積に努めましたほか、遠軽地方景況レポートなどの有用な経営情報の提供に努めました。

また、小学生及び高校生向け金融教育講座の実施や中小企業大学校旭川校の受講費用助成など社会貢献活動にも努めました。

2. 進捗状況に対する評価

- (1) 計画に掲げた取り組みの実施状況は、総じて順調と評価しております。特に、既往事業資金取引先を対象として、5月から6月及び11月から12月に延べ1,805先の訪問活動を展開し、業況の把握や資金繰りについて支援することができたほか、条件緩和についても柔軟に対応することができたものと評価しております。

経営改善支援につきましては、個別の経営相談会を延べ60回開催したほか、不動産賃貸業経営支援セミナー及び遠軽地方若手経営者交流会を開催し、参加者等から高い評価をいただくことができました。

また、中小企業経営者及び従業員を対象とした、中小企業大学校旭川校の研修受講費用の助成を行い、地域中小企業の事業活性化に貢献することができたものと評価いたします。

- (2) 経営改善支援等の取り組み実績につきましては、経営支援先13先に対して経営指導を行い、厳しい経営環境であることから、ランクアップに至った先はなかったものの、ランクダウン先もないという結果となりました。

3. 取り組み状況の詳細

具体的な項目毎の取り組み状況の詳細は、別添「地域密着型金融の取り組み状況表(平成29年4月から平成30年3月)」及び「経営改善支援の取り組み実績」のとおりであります。

地域密着型金融の取り組み状況表

(平成29年4月から平成30年3月)

| 項 目 | 取 り 組 み 状 況 |
|--|--|
| ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化 | |
| 創業・新事業支援 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ○ アパート創業及びメディカル開業などの融資支援 アパート創業及びメディカル開業について、ハウスメーカーや医療機器販売会社等から情報を収集し、堅実な事業経営のノウハウについて提供を行うものであります。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ アパート創業及びメディカル開業資金の平成29年度の支援実績は、アパート創業55先5,616百万円、メディカル開業3先218百万円であります。 ○ アパート創業資金については、先数・金額とも前年を上回る実績となり、好調であると評価しております。メディカル創業資金については、安定したニーズが見込まれることから、今後も積極的に資金提供を行います。 ○ アパート市場が供給過剰の傾向にあり、また他行との競合も激化していることから、継続して優良案件を発掘することが課題であります。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ○ 商工会議所、商工会と提携した創業支援資金融資制度の活用促進 ネットワークを広げ、基盤地区の創業先等の資金ニーズにきめ細かく対応するため、創業支援資金「チャレンジ」を遠軽商工会議所、えんがる商工会、湧別町商工会及び佐呂間町商工会と提携して推進するものであります。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 平成29年度の活用実績は、自動車整備業の独立開業にかかる運転及び設備資金1先2百万円、個人による不動産仲介業の創業にかかる運転資金1先1百万円であり、例年に比べ実績は少なかったものの、地域の活性化に貢献できたものと評価しております。 ○ 今後とも商工会議所及び各商工会との連携を密にし、創業・新事業に対する支援に努めていく方針であります。 |
| 経営改善支援 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ○ 貸出条件緩和への取組 平成20年11月7日の金融検査マニュアルの改訂及び金融円滑化法の施行に伴い、積極的に相談をお受けし、既存貸出の条件変更等に対応しております。また、金融円滑化法が平成25年3月末をもって失効となりましたが、引き続き条件変更等により柔軟に対応するものであり、延滞中、延滞傾向及び条件緩和を要望している債務者とヒアリングを行い、合理的で実現可能性の高い経営改善計画書を策定する等により、可能な限り貸出条件の変更に応じるものであります。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 平成29年度に貸出期限延長等条件緩和を行った貸出は、116件721百万円でありました。 ○ 金融検査マニュアルの改訂に沿った活動により、十分な成果があったと評価しており、今後も金融円滑化の観点から、引き続き可能な限り支援を目的とした貸出条件変更等を行っていく方針であります。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ○ 経営相談・支援業務の継続 厳しい地域経済環境を踏まえ、取引先企業の経営改善支援の取り組みを継続し、不良債権の増加抑制に努めるものであり、経営支援先13先の経営改善指導に努めるものであります。 なお、経営改善支援方法の充実策として、1先を選定のうえ、「経営再生プラン」を選定し、実行中であります。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 平成29年度においては、経営支援先13先に対して経営指導を行い、厳しい経営環境であることから、ランクアップに至った先はなかったものの、ランクダウン先もないという結果となりました。 ○ 平成30年度においても、債務者区分のランクアップを図るため、継続して充実した支援活動を行っていく方針であります。 |

| 項 目 | 取 り 組 み 状 況 |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ○ 資金繰り支援 既往取引先に対して業況の聞き取りを行い、新たな資金ニーズの把握や金融円滑化に対応した貸出条件の変更等必要な措置を行い、取引先の安定経営を図るものであります。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 平成29年度中に2回、当金庫と融資取引のある事業所を中心とした一斉訪問活動を実施し、取引先の資金ニーズ等の把握に努めた結果、訪問先数延べ1,805先のうち、資金ニーズ有りの先延べ255先、条件変更検討先延べ13先でありました。当金庫から能動的にアクションを起こしたことにより、取引先の資金ニーズに迅速な対応が図られ、また、当金庫に対する信頼が深まったと評価しております。 ○ 当面、地域経済の停滞が続くことが予想されることから、引き続き、資金ニーズ等の発掘及び把握に向けた一斉訪問活動を実施していく方針であります。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ○ 経営相談会の開催 当金庫の取引先である中小企業の経営課題や事業承継問題の解決に寄与するため、経済産業局中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業や北海道事業承継センターの専門家派遣を活用した経営相談会を開催し、取引先の課題解決に向けた取り組みを支援するものであります。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 平成29年度は、個別相談会を延べ60回開催し、課題解決に向けた経営相談を行いました。個別相談を受けた取引先からの評価は高く、継続して実施してほしいとの依頼があり、経営相談会の効果を高く評価しております。 ○ 平成30年度においても経営相談会を継続して実施し、取引先の経営力アップと経営者の抱える事業承継問題の解決につながる取り組みを継続して実施する方針であります。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ○ セミナーの開催 当金庫取引先の課題解決や継続的な事業発展に貢献するため、「不動産賃貸業経営支援セミナー」を開催し、中小企業経営者の経営改善及び継続的な事業発展を図るものであります。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 平成29年9月、札幌市において「民法改正に伴う不動産賃貸業への影響について」及び「平成29年度の不動産に関する税制改正と法人によるアパート経営の税金について」をテーマとして、札幌地区のアパートローン取引先を中心に198名に参加いただき、「不動産賃貸業経営支援セミナー」を開催しました。 ○ セミナー後のアンケート結果から、たいへん有益であったとの声が多く、十分な成果があったと評価しており、今後も継続して取引先が求めるセミナーを開催していく方針であります。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ○ 「遠軽地方若手経営者交流会」の開催 「遠軽地方若手経営者交流会」は、若手経営者に、講演会及び懇親会を通じて交流の機会を提供し、経営者としての素養と見識を高めるとともに、企業の事業発展に寄与するため企画・開催するものであります。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 平成30年2月、43名に参加いただき、「事業承継事例・税務調査事例」と題した講演会を行った後、懇親会を開催し、交流の機会を提供しました。 ○ 参加者の評価は高く、継続して実施してほしいとの要望があり、平成30年度においても、継続して実施していく方針であります。 |
| <p>事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底</p> | |
| <p>目利き能力の向上、人材の育成</p> | |
| <ul style="list-style-type: none"> ○ 目利き能力の向上、人材の育成 職員の審査能力の向上を図り、中小企業金融に関する経営相談機能の拡充を目指すものであります。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 平成29年度において、全信協が主催する事業性評価融資推進講座に2名及び北信協が主催する貸出審査能力養成講座に2名の職員を派遣しました。また、事業性評価に係る集合研修を3ブロックで開催し、78名の職員が出席しました。数多くの職員が事業性評価に関する講座を受講し、人材の育成がなされているものと評価しております。 ○ 今後も計画的に研修に取組み、人材の育成に努めます。 |

| 項 目 | 取 り 組 み 状 況 |
|---|--|
| 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献 | |
| 地域活性化につながる多様なサービス提供 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ○ 遠軽地方景況レポートなどの有用な経営情報の提供 取引先企業への有用な経営情報の提供に努めるものであり、信金中央金庫が取りまとめる「中小企業景況レポート」と、当金庫が作成する「遠軽地方景況レポート」を調査対象先等へ配付するものであります。また、「遠軽地方景況レポート」は、ホームページへ掲載しております。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 四半期毎に、「中小企業景況レポート」及び「遠軽地方景況レポート」を調査対象先等へ配付するとともに、「遠軽地方景況レポート」については、ホームページに掲載し、取引先企業に有用な経営情報が提供できたものと評価しております。 ○ 今後も「遠軽地方景況レポート」の内容充実に努める方針であります。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ○ 金融教育講座の実施 社会人として必要な金銭知識や金銭感覚について学習することにより、貯蓄意義の理解、金融犯罪被害の防止及び多重債務の回避を図ることを目的に、遠軽地区の小学生及び高校生向けの金融教育講座を開催するものであります。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 平成29年12月、遠軽町内の小学校3年生・4年生（41名参加）を対象に「えんしんマネー教室」を開催し、お小遣い帳の記入方法やお金の使い方などを勉強していただきました。 ○ 平成29年12月に湧別高校3年生（約50名参加）、平成30年1月に遠軽高校3年生（約160名参加）を対象に、「多重債務に陥らないために」と題した講演を行いました。 ○ 参加した児童・生徒には真剣に話を聴いていただき、講義の内容は十分に伝わったと評価しております。今後も対象先を拡大し、継続的に実施する方針であります。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ○ 中小企業大学校旭川校研修受講費用の助成 地域の中小企業の事業活性化に資するため、中小企業の経営者や従業員が中小企業大学校旭川校の研修を受講する場合の受講費用を助成するものであります。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 平成29年度は、7件230千円の受講費用を助成しました。 ○ 中小企業大学校旭川校の講座カリキュラムから希望する講座を受講いただき必要な知識を習得できることから、地域の中小企業の事業活性化に貢献することができたものと評価しており、今後も継続して実施する方針であります。 |

経営改善支援等の取組み実績

【29年4月～30年3月】

(単位:先数)

(単位:%)

| | 期初 債務者数 | うち | | | | 経営改善支援 取組み率 | ランクアップ率 | 再生計画 策定率 |
|------------------|------------|---------------------|---|--|---------------------------------|----------------|----------------|-----------------|
| | | 経営改善支 援取組み先 数 | α のうち期末 に債務者区分 がランクアップ した先数 | α のうち期末 に債務者区分 が変化しな かった先数 | α のうち再生 計画を策定し た先数 | | | |
| | A | α | β | γ | δ | α/A | β/α | δ/α |
| 正常先 ① | 1,779 | 0 | | 0 | 0 | 0.0% | | - |
| 要 注 意 先 | | | | | | | | |
| うちその他 要注意先 ② | 127 | 10 | 0 | 10 | 10 | 7.8% | 0.0% | 100.0% |
| うち 要管理先 ③ | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 | 100.0% | 0.0% | 100.0% |
| 破綻懸念先 ④ | 27 | 1 | 0 | 1 | 1 | 3.7% | 0.0% | 100.0% |
| 実質破綻先 ⑤ | 12 | 1 | 0 | 1 | 1 | 8.3% | 0.0% | 100.0% |
| 破綻先 ⑥ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | - | - | - |
| 小計 (②～⑥の計) | 167 | 13 | 0 | 13 | 13 | 7.7% | 0.0% | 100.0% |
| 合計 | 1,946 | 13 | 0 | 13 | 13 | 0.6% | 0.0% | 100.0% |